

県立高校「未来の学校」構築事業

学びの改革支援課

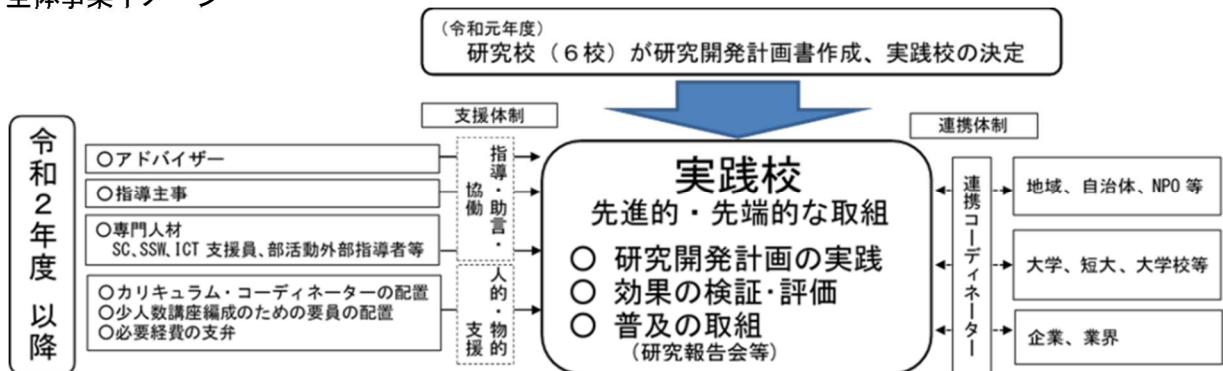
1 事業目的

「高校改革 ～夢に挑戦する学び～ 実施方針」に基づき、先進的・先端的な研究開発に取り組む「未来の学校」実践校を指定することにより、新たな学びの場、学びの仕組みを構築し、研究開発の検証及び評価を行うとともに、高校教育の質的向上、教育課題の解決及び多様な学びの場の創造を図る。

2 事業内容

実践校6校は、令和元年度に研究校が策定した研究開発計画を基に、令和2年度以降、アドバイザー等の助言を得ながら概ね5年間研究開発に取り組み、検証・評価を行いながら成果の普及につとめる。令和5年度は実践4年目となる。

(1) 全体事業イメージ



(2) 「未来の学校」実践校

◇卓越した探究的な学びを推進する高校（略称「スーパー探究校」）	＜野沢北高校＞
佐久市内外の病院や企業、大学等と連携し、それぞれの分野の最先端を学びながら、地域や社会の課題解決につながる卓越した探究活動を行い、「広い知識と教養及び未来を担う自覚」「論理的思考力と主体的課題解決能力」等を備えた、地域や日本、世界で活躍し未来社会の核となる人を育成する。	
◇信州に根ざしたグローバルな学びを推進する高校（略称「信州グローバルハイスクール」）	＜須坂高校＞
「地域の知と創造の拠点 ～大学のないまちの大学のような高校Super Academic High school (SAH)」を目指し、須坂市や国内外の大学等と連携して、世界と地域を関連づけた教科横断的な課題解決型学習や実践的英語学習を行い、グローバルな視野をもちながら地域や社会に貢献できるリーダーを育成する。	
◇国際的な教育プログラムを研究する高校（略称「国際プログラム研究校」）	＜飯田風越高校＞
リニア新時代を迎え、地域に根ざしたアイデンティティとグローバルな視野をもって、地域や世界の未来を創造できる人を育成するために、国際的な教育プログラムの長所を活かした独自のカリキュラムや指導・評価法を開発するとともに、他校にも開かれた海外大学進学プログラムを構築する。	
◇高度な産業教育を推進する高校（略称「高度産業教育推進校」）	＜木曾青峰高校＞
「高校での学び（地元への愛着を深め、自己の生き方をデザインし、木の新たな価値を見出す力等を育む）」と「卒業後の学び」を結びつけ、地元企業や上級学校等と一貫した教育プログラムを構築し、高度な技能・技術と創造性、経営者感覚を備えた、地域の未来を担う産業人を育成する。	
◇少人数学級を研究する高校（略称「少人数学級研究校」）	＜坂城高校＞
自らキャリアをデザインし、地域社会に主体的に貢献できる人を育成するために、多様な生徒に対応できる「個別最適化学習」や「地域連携型探究活動」等を取り入れた少人数学級のあり方と、教員の指導力を最大限に活かす学校運営のあり方を研究する。	
◇自治の追求により骨太のリーダーを育成する高校（略称「骨太リーダー育成校」）	＜松本深志高校＞
校是としての“自治”を問い続け、その理想をすべての場面で追求・具現化することにより、高い志や使命感、未解決の課題への挑戦心、学問的真理を追究する意欲等の資質・能力を身につけ、他者と協働して新たな価値や社会を創造できる骨太のリーダーを育成する。	

3 令和5年度予算額 639万9千円